

令和8年7月定例教育委員会会議録

- 1 日 時 令和8年7月7日（火）10時
- 2 場 所 市庁舎本館4階 第1委員会室
- 3 出席者 教育長職務代理者 太田かおり
教育委員 八木秀和、鶴田弥生、田中健一郎
- 4 欠席者 なし
- 5 事務局 教育部長 清水秀一
教育総務課長 山口研治
学校教育課長 船元幸徳
指導室長 田口一樹
生涯学習課長 大畑祐一郎
教育総務課課長補佐 近野久幸
学校教育課課長補佐 濱田大輔
学校教育課課長補佐 西本延代
教育総務課教育総務係長 小澤友美
- 6 傍聴人 7人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定 例 教 育 委 員 会 議 事 日 程

令和 8 年 7 月 7 日 (火) 1 0 時 0 0 分

1 会議録の承認

令和 8 年 6 月定例教育委員会の議事録の承認

2 報告事項

(1) 令和 8 年 7 月学校教育行事及び社会教育施設行事について

3 協議事項

(1) 令和 8 年度教育委員会点検評価委員会に提出する点検評価の結果報告書
(案) について (令和 7 年度実績)

(2) 新中学校の再編・整備について

(3) 令和 8 年 8 月定例教育委員会の日程について

4 議決事項

第 2 4 号議案

中間市教育委員会点検評価委員会委員の委嘱について

[開会時刻：１０時００分]

太田教育長職務代理者 皆様、おはようございます。
只今から令和８年７月定例教育委員会を開催いたします。それでは、次第に沿って進めさせていただきます。
まず、会議録の承認でございます。
令和８年６月定例教育委員会の議事録の承認について、お諮りいたします。
いかがでしょうか。

教育委員 <<承認>>

太田教育長職務代理者 ありがとうございます。それでは、続きまして報告事項に移ります。
令和８年７月学校教育行事及び社会教育施設行事について、それぞれ説明をお願いします。

田口指導室長 それでは、７月の学校行事についてご説明いたします。
まず共通行事についてです。
７月１７日に各小中学校において終業式を行います。給食終了は、小・中学校ともに１５日です。７月２１日から８月２４日までが夏季休業日となります。
続いて、各学校の行事です。
小中学校ともに、学期末にあたり、小学校では個人懇談会、中学校では三者面談が行われます。また、全ての学校で終業式の前日または前々日に、学期末の大掃除を予定しています。
南小では２日、中間小学校では７日に、６年生を対象とした租税教室を予定しています。これは、若松税務署から派遣された講師が、発達段階に応じて、「税とは何か」「なぜ税が必要か」「税がどういう役割を果たしているのか」「税の仕組みはどうなっているのか」等、動画等も使いながらわかりやすく説明する授業です。他の小学校、中学校でも２学期以降に実施予定です。
北小では２日、３日、１０日に夢ネット交流を予定しています。これは、校区で子供を育てていこうという、北校区独自の取り組みである「ほくほく夢ネット」の一環として行われるものです。２日、３日は北小５年生がさくら保育園を訪れ、保育園が準備した遊びを園児と一緒に体験します。１０日は北小６年生と、北中２年生の交流が予定されています。中学校進学を控えた６年生の中学校生活についての質問に、中学生が答えるという内容の学習が予定されています。
南小では、１４日に５年生を対象に水難防止訓練が行われます。消防署から講

師を招き、着衣泳の体験を行います。

夏季休業に入り、名称は各学校で異なりますが、全ての小中学校で、各学校の実情に応じて2日間から5日間の日程で「学力補充教室」が行われます。

以上で、7月行事の説明を終わります。

太田教育長職務代理者 只今の説明につきまして、ご意見ご質問等がございますでしょうか。
田中委員。

田中教育委員 学期末ということで、各学校で小学校は個人懇談会、そして中学校の方では三者面談等が計画されているようですが、おそらく調整されていると思いますけれど、兄弟関係で、小学校と中学校の両方に子供がおられるというご家庭があると思いますので、その日程を学校同士または担任同士で調整して、かぶらないようにしていただければと思います。

といいますのが、1学期に授業参観で、同じ校区の小学校と中学校の授業参観が重なって困ったという話を保護者の方からお聞きしましたので、少しその辺りをこれからは注意して、小中連携して計画立てていただければと思います。よろしくお願いします。

田口指導室長 ご意見ありがとうございます。

日程の調整につきましては、保護者からの要望を第一に調整を行っているところであります。

また、小中の連携等については、校長会議等で周知してまいりたいと思います。

太田教育長職務代理者 ありがとうございます。

その他、ご意見ご質問等がございますでしょうか。

八木教育委員。

八木教育委員 私の方から、いくつか質問と意見をさせていただこうと思います。

先ほど今月末から夏休みに入るということで、南小の方では、着衣泳での水難事故の防止訓練があるということですが、夏休みに入りますと水の事故が全国的にも多く発生します。プール遊びや海に行ったりする場合もあると思いますけれども、小中学生に限らず、子供だけで行かないなどの注意喚起を十分にいただければと思っております。数年前に近隣の自治体で大変悲惨な事故も起きていますので、そういったことが中間市でも起こらないような体制をとっていただきたいということが1点目です。

次に、共通行事で26日に、科学の甲子園ジュニア地区大会が行われます。中間市からどなたか出られるのであれば教えていただければと思います。

次に、夏休みに先生方の研修がいくつか予定されていますが、底井野小学校では24日に不祥事防止研修が予定されています。先生向けの研修であると思いますが、最近ですと北九州の教育委員会で個人情報の流出が大きな話題となりました。学校機関は大量の個人情報を取り扱っていますので、そういったところの注意を、デジタル化になりますと、USBの持ち運びなども多々あると思いますので、十分に注意していただければと思っております。

最後に、中学校で漢字検定がありますが、これまでも実施されていたのかどうかと、何年生が対象となるのかわかれば教えていただきたいと思います。

田口指導室長 それではご質問にお答えいたします。

まず、水難事故の防止についてです。八木教育委員がおっしゃられたように数年前にこの北九州教育事務所管内で大きな事故が発生しております。

それを契機に、6月の段階ですでに校長会議等で事故防止の取り組みの徹底を指示しているところであります。併せて、7月から夏休みに入りますので、各学校に対して再度指導の徹底を周知してまいりたいと考えております。

2点目の科学の甲子園ジュニア地区大会についてです。

今年度、中間市からは北中の2年生が2チーム出場予定となっております。

北九州教育事務所管内の大会を勝ち抜けば県大会、県大会を勝ち抜けば全国大会へと進んでいく大きなイベントとなっております。

3点目の不祥事防止研修についてです。

個人情報の流出についてご意見をいただきましたが、4大不祥事と言われる不祥事の一つとなっております。すでに年度当初、各学校で研修を行っているのですが、引き続き、各学校で教員対象の研修を繰り返し行い、認識をしっかりと身につけてまいりたいと思います。

最後に、漢字検定についてです。

漢字検定については、対象は学年を特に指定しておりません。これまでも行われてきたのですが、実は学校単位で実施できる最低人数が決まっております、お手元に資料がないので具体的に申し上げられませんが、受験者が非常に減少しているため、もうすでに漢字検定を行わないという判断をしている学校もございます。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。

それでは、続きまして社会教育施設行事について説明をお願いします。

大畑生涯学習
課長

7月の社会教育施設行事について、主なものをご説明いたします。

まずは、中央公民館事業です。

19日日曜日10時から、ハピネスなかも別館におきまして、「わくわく科学教室Ⅰ（ロボットたちと遊ぼう）」を行います。

講師に、九州工業大学工学研究院基礎科学研究系准教授の花沢 明俊氏をお迎えし、小型のロボットを動かし、ゲーム等の体験をします。最先端の技術を身近に感じることで、科学の楽しさに気づききっかけづくりとするとともに、親子の触れ合いを深めることを目的としています。小学生と保護者を対象といたしまして、定員20組40名となっております。参加費用は無料となっております。

26日日曜日10時から、生涯学習課仮事務所におきまして、「わくわく科学教室Ⅱ（光と空気の実験）」を行います。講師に、福岡教育大学教授伊藤 克治氏をお迎えし、光と空気の実験を行います。光の実験では、光の三原色の足し算等をしながら、光の性質の不思議を体験します。空気の実験では、長い風船を飛ばしたり、巨大な空気砲を使ったりしながら、目に見えない空気の実験を体感します。これらの実験を通じて、科学の不思議に触れさせることで、理科の楽しさに気づききっかけづくりとするとともに、親子の触れ合いを深めることを目的としております。小学生と保護者を対象といたしまして、定員16組32名となっております。参加費用は無料となっております。

また、大人の手習い、おもしろ歴史講座、やさしい太極拳、スマートフォン講座、りふればーく等を今月も行います。

次に体育文化センターです。

5月の定例教育委員会でも申し上げましたが、体育文化センターの空調改修工事に伴い、7月6日から8月31日まで臨時休館としております。

なお、定例のなかも元気スポーツクラブ及びスポーツ協会自主事業の各種教室につきましては、生涯学習課仮事務所等の代替施設を活用し、予定どおり実施いたします。

また、屋島公園内の幼児用プールを、7月1日から9月10日まで、開園の予定といたしております。

次に図書館です。

2日から31日まで、「希望の牧場」原画展を開催いたします。東日本大震災での福島第一原子力発電所の原発事故後、警戒区域になった牧場に留まり、そこに取り残された牛たちの声なき命を守り続けようと決めた牛飼いの姿を描いた絵本「希望の牧場」の原画展となっております。

18日から8月30日まで、図書館ビンゴを開催いたします。カウンター前

にビンゴカードを設置し、ビンゴのマスにあるテーマの本を借り、読み終わったら、本の名前をマスに書き、マスのうち、縦、横、斜めのどこか1列が揃えばビンゴとなります。なお、中学生以下のビンゴ達成者には、ブックしおりがプレゼントされます。例年のイベントではありますが、利用者の方からは毎年好評をいただいております。

同じく18日から8月30日まで、「気になることを調べてみよう！夏の好奇心応援セット」を開催いたします。小中学生を対象に、夏休みの課題や、調べる学習のテーマ決め、職業研究等に役立つ、1袋3冊入りの本のセットを貸し出します。

同じく18日から8月30日まで、本と雑誌のリサイクルを開催いたします。除籍した本や寄贈本の一部、保存期間の過ぎた雑誌を無料配布いたします。本は一人何冊でも可で、雑誌は一人5冊までとなっております。なお、配布する本等がなくなり次第終了となります。

20日月曜日14時から、「調べる学習教室」と題しまして、「調べる学習」に必要な調べ方やまとめ方のコツを、楽しみながら学べる教室を開催いたします。対象は小中学生15人程度で、調べる学習や自由研究へのきっかけづくりをサポートいたします。

次にハーモニーホールです。

5日日曜日14時から、会議室1におきまして、「整理収納のきほん講座」が開催されます。講師に整理収納アドバイザーの平野阿弥乃氏をお招きし、日常生活の中で「片づけたいけれど、どこから始めればよいかわからない」と感じている方を対象に、整理収納の基本を学ぶ講座です。ものを減らすことが目的ではなく、自分にとって使いやすい整理、収納の考え方を知ることができる講座です。定員は20名で、料金は一般2,000円、会員1,800円となっております。

7日金曜日13時30分から、特別会議室におきまして、「明治安田生命 Presents だれもが知りたい市民講座 わたしと家族の「そうぞく」講座」の第3回が開催されます。今回は、「笑顔を運ぶ『遺言』のお話」と題しまして、遺言に関する講座を行います。

18日から、毎週土曜日にえいご講座を開催します。これは、講師にネイティブスピーカーの方をお招きし、英語を楽しく学べる講座となっており、「話す・聞く・読む・書く」を各自の状況に合わせて習得できます。対象は中間市内の小学生で、英語の音に慣れ、身近な単語や表現を楽しく習得する1、2年生クラス、基本的な表現を理解し、簡単な自己表現をできるようにする3、4年生クラス、語彙力・読解力を強化し、短い作文やスピーチを行い、希望者には英検にも挑戦することができる5、6年生クラスの編成で、

各クラスの定員は15名程度となっており、料金は無料となっております。講座は、7月から3月までの各クラス全34回の連続講座となっており、講座の集大成として、3月に成果の発表会を小ホールで開催することとしております。

28日火曜日と8月の4日、11日、18日火曜日の全4回で、えいご講座夏休みスペシャルレッスンを開催します。こちらにも、講師にネイティブスピーカーの方をお招きし、体を動かしながら楽しく学ぶ講座となっております。対象は中間市内の小学生で、1、2年生クラス、3、4年生クラス、5、6年生クラスの編成で、各クラスの定員は30名程度となっており、料金は無料となっております。

以上が社会教育施設の主な行事予定でございます。

太田教育長職務代理者 只今の説明につきまして、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
鶴田教育委員。

鶴田教育委員 図書館についてご質問いたします。
毎年好評でやられている事業があることもご紹介いただきましたが、夏休みに入るからこそその館内ですとか、企画の工夫、前年度からの改善等、考えられていることがありましたら、ぜひ教えてください。

大畑生涯学習課長 図書館に関しましては、夏休み中はやはり学習室で自主学習をするという方が多く、昨年度は少し人数が多くて入りきれなかったところがありましたので、今年度に関しましては、多い日になりましたら多目的室を一時開放しまして、学習できる人数を増やし、できる限り多くの方が自主学習に利用できるように工夫をさせていただいているところでございます。

鶴田教育委員 引き続き質問させていただきます。日頃よりも子供たちが多く集まっている現状があるということでしたが、集まっている子供たちの校区ですとか、こういった学校の子供たちが多いですとか、そういった分析とまではいきませんが、集まってる子供たちの特徴みたいなものはわかっているのでしょうか。

大畑生涯学習課長 特徴までは少し何とも言えないですけども、近隣の高校生などはいつもより多いのかなとは体感として感じているところでございます。

鶴田教育委員 ぜひ、夏休みをきっかけに、日頃利用しない子供たちが図書館に足を運ぶよ

うな機会になればいいなと思っております。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
八木教育委員。

八木教育委員 私も、図書館について質問させていただきます。
20日の日に行われます調べる学習教室について、まず告知をどのようにされているかということをお聞きします。夏休みの宿題も兼ねる点でも非常に有意義なものと思いますし、こういうイベントがあると、子供たちを参加させようという親御さんの中にはいらっしゃると思いますので、こういった有意義なイベントは、tetoru等を使って告知をしていただきたいと思います。定員は15人ほどということですが、1人でも多くの子供たちに参加していただいて、自由研究にも使える内容になりますので、是非とも親御さんにも知らせていただければと思います。普段から図書館に行かないとなかなか目にしないところであると思いますので、1人2人でも参加者が増えていただけるといいかなと思います。よろしくお願いします。

大畑生涯学習課長 告知につきましては安心メール等を活用しながら、保護者の方も含めて周知をさせていただいているところでございます。
また、その他の周知方法についても、できる限り参加を促したいと思いますので検討してまいりたいと思います。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
ないようですので、続きまして、協議事項に移りたいと思います。
令和8年度教育委員会点検評価の結果報告書（案）について（令和7年度実績）の説明をお願いします。

山口教育総務課長 令和8年度教育委員会点検評価委員会に提出する点検評価の結果報告書（案）につきまして、ご説明いたします。
こちらの別冊資料、教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果報告書（令和7年度実績）をご覧ください。本年度につきましても、点検評価委員会委員に提出する、令和7年度実績の点検評価シートを作成しました。今回も、6つの分野で、12項目の点検評価シートを作成しております。本資料につきましては、事前にお配りしておりますので、時間の関係上、ここでのご説明を省略することにつきまして、ご了承願います。
それぞれのシートの内容について、ご意見、ご質問等をよろしくお願いいたします。

します。

太田教育長職務代理者 それでは、点検評価の結果報告書（案）につきまして、それぞれの項目等について、ご意見ご質問等はございますでしょうか。八木教育委員。

八木教育委員 健康推進事業の中の残食率について、毎年のように話題になるとは思いますが、令和7年度は特に中学校のパンの残食が大幅に減ったと感じます。ただ、まだまだ他の食材や小学生に比べてもやっぱり中学生のパンの残食が多いと思いますけれど、この減少の要因と、今後どのようにしたら他の食材と同じようなレベルになるのかというお考えがあれば教えていただきたいと思います。

山口教育総務課長 今回、中学校のパンにつきましては減少傾向にあります。
令和7年度は、10月から給食費を改定させていただきまして、同時に給食費の無償化をさせていただくことができました。これにより、多様な食材を活用することができるようになったこと、またジャム等も以前は物価高騰によりパンに付けることができなかった時期が多かったのですが、10月以降は付けることができるようになり、パンを食べやすい環境ができたというところで、今回は大幅に減らすことができたのではないかと分析しているところでございます。
今後もこの流れを継続していくためには、多様な食材を使うことができる環境を整えていくことと、子供たちに食の重要性を継続して伝えていくことが重要と考えております。引き続き子供たちと一緒に給食を食べながら、どのようにすると給食が食べやすくなるのかを直接聞きながら、改善に努めていきたいと考えております。

八木教育委員 ありがとうございます。
10月以降の給食に関しては、私も子供が学校に通っていますけれど、子供からも非常に内容が変わった、すごく良くなったという感想をよく聞きます。先ほどのジャムの1件でもこれだけの成果があるということは、もちろんすばらしい成果です。しかし、もともと私たちの小さい頃は、残さないということが基本であり、今はなかなか厳しくも言えない時代であると思いますけれど、やっぱり「もったいない」という精神もとても大切だと思いますので、そういったところも含めて、残食に関しては取り組んでいただければと思っています。

- 山口教育総務課長 はい、ありがとうございます。
今後とも「食育」というところに視点を置いて、子供たちにその重要性を伝えていながら、結果的に残食が減るという方向性になるように、引き続き努めていきたいと思っております。
- 太田教育長職務代理者 その他ご意見ご質問等ございますでしょうか。
田中教育委員。
- 田中教育委員 特別支援教育推進事業についてお聞きいたします。
以前に比べて特別支援を必要とする児童生徒の数が、非常に増えてきております。それに伴って、特別支援学級の数も、県内、市内にとどまらず全国的に増えているということが現状ですが、そのような中、特別支援学級の担当教員だけでは手が足りない、目が行き届かない、一人一人の子供たちのニーズに合った指導支援ができないということで、どうしても特別支援教育支援員の配置が現場では非常に求められているわけです。ここに小学校6校、中学校4校それぞれ配置状況が出ていますが、全校に配置されており、昔に比べると十分配慮されているんだなということはよく伝わるのですが、1名のところもあれば3名のところもあるということで、これは学校の規模とは関係なく、数に少しばらつきがあります。
その辺りの理由がわかりましたら教えていただきたいのと、市の方で支援員の配置について基準等がありましたら、教えていただければと思います。
よろしくお願いします。
- 船元学校教育課長 原則1名ということになっていますが、例えば医療的なケアが必要だったり、そういった生徒がいる場合は、増員をしているという状況でございます。
もちろん田中委員がおっしゃるとおり、この状況で足りているとは思っておりませんので、増員については、市長部局に今後も要望していきたいと思っております。最低でも2名ずつ配置できるようにしていきたいと思っております。
- 太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
鶴田教育委員。
- 鶴田教育委員 ICT活用について質問させていただきます。
対応される先生方も、日々ご苦労もあるだろうなと想像いたしますけれども、保護者の方の不安もきっとあるのかもしれないなと想像しております。

例えばですけれど、使い方を知ることによって何かトラブルに繋がらないかですか、また、用語の難しさから保護者の方もお知らせを読むのが少し難しく、飛ばしてしまって、本当に中間市が伝えたいことが伝わっていないようなことがあるかもしれないなと思いました。

ぜひ、これからも、保護者の皆様、子供たち、学校自体もリテラシーをしっかりと押さえているという情報共有をしながら進めていっていただきたいと感じました。よろしくお願いします。

田口指導室長 貴重なご意見をありがとうございます。
発達段階に応じた情報のリテラシー教育、モラル教育は大変必要だと感じております。昨年度も、NILMO ステップという発達段階に応じた目標を設定して、全ての事業において、それを意識しながら指導していくという取り組みを現在展開中であります。保護者への啓発も含めて、これからも進めてまいりたいと考えております。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
八木教育委員。

八木教育委員 先ほどのスケジュールの時にお聞きしようかと思った件に関わるのですが、ICTに関して、夏休みに今年新しくなった iPad を持って帰って学習したいというケースもあるのかなと思いますが、そこに関しては学校側としてどのように対処されるのかを教えていただければと思います。
また、今年端末が新しくなり、キーボードも新しくなりました。昨日学校に行く機会があったので見せていただくと、カバーやキーボードがすごく立派になっていました。キーボードが色分けされていて、すごくカラフルになっていたので何か意味があるのかなと思ったら、おそらくタイピングの指の使い方なのかなと思いました。一緒にいた先生と話していたら、ああ、そういうことだったのですねという話だったので、正しいタイピングということも、私たちが小さい頃にはもちろんなかったことなので、せっかくあるものですから、そういった一つ一つを有効活用できるように先生方からの導きなどがあたらいいなと思います。

田口指導室長 ありがとうございます。
まず iPad の持ち帰りについては、様々な課題もございますので、各学校が課題を一つずつつぶしながら対応しているところでございます。前向きに持ち帰りについては検討しているところでございます。

また、キーボードについても、八木教育委員がおっしゃられるとおりで、タイピング用になっておりますので、その辺りの周知を図ってまいりたいと思います。ありがとうございます。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
田中教育委員。

田中教育委員 これは少し余分な心配なのかもしれないのですが、東京都で、先日音楽準備室から出火というような、少し私たちからしたら想像できないようなことが起きました。教員の私物ということが少し鍵になると思うのですが、乾燥させていて何らかの原因で出火した、教員の私物の電気ストーブが持ち込まれていたと。これはかなり責任があるのではないかなと思います。そして、個人だけでなく学校全体としてその辺りの管理が不十分であったと言われても致し方ないのかなと思います。

このようなことを受けて、こういうことはもう起きないことが当たり前ですが、あったからには、これを教訓にして再発防止等に努めなければいけないと思いますので、教育委員会の方から学校への働きかけもすでにもちろんされていると思いますけれど、このようなことが起こらないことを前提にすると、起きた時に大変なことになりますので、あっても不思議ではないというような感覚で、学校の方へもご指導していただければと思います。よろしくお願いします。

山口教育総務課長 私の方から、今回の火災を受けて、施設面について対応した経緯をご説明させていただきます。

6月19日金曜日に東京都で火災が発生しております。その翌週にすぐ各学校長宛にメールを送りまして、まず施設設備の点検を行っていただくこと、そして火災が起こった際の対応手順について再度教職員間で確認していただくことを通知させていただきました。

その後、報道等の経過がいろいろございましたので、9項目の点検項目を再度整理いたしまして、例えばコンセントに挿さったままになってないか、燃えやすいものを近くに置いてないか、灯油などの管理はきちんとされてあるのか、コンセントに埃が溜まった状態になってないか等を確認するようにお願いいたしました。

ほとんどが異常なしということでしたが、コンセントの状況がたこ足配線になっているとか、コンセントが破損している等、何点か不備がございましたので、早急に施設設備の対応を行うようにしております。

改めて、教職員の先生方には、火災が起こった時の対応手順であったり、今回の火災の状況を踏まえて子供たちの安全が守れるように行動していただくことを、通知している状況でございます。

太田教育長職務代理者 ありがとうございます。
その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
ないようですので、次の新中学校の再編・整備について、ご説明をお願いいたします。

山口教育総務課長 新中学校の再編・整備について、ご説明いたします。
こちらの資料「新中学校の再編・整備について」をご覧ください。
「１．令和８年度第１回中間市総合教育会議での新中学校施設整備の市長の考えについて」です。５月１９日に開催した総合教育会議での市長のご発言を抜粋したものになります。
教育委員会では、市長から示された新中学校の配置場所である中間中学校と中間東中学校の敷地を最大限有効に活用できる整備手法を約１年かけて検討し、両敷地に新校舎を整備すること、敷地内段差の解消、樹木が繁茂した法面の整備、狭いアクセス道の新設及び改修を行うことが最善の整備手法であると結論に至りましたことから、中間市新中学校施設整備実施計画を決定し、５月１日付けで市長に提言したところでございます。
しかしながら、今回、資料としてご準備しておりますように、５月１９日に開催した令和８年度第１回中間市総合教育会議におきまして、市長から近年の社会経済情勢を踏まえ、本実施計画を一部見直すこと、具体的には、まずは経済政策を最優先課題として取り組み、中学校の再編は、既存の中間中学校と中間南中学校の校舎を活用して早期の開校を目指すこと、新築校舎は１０年後の供用開始を目指すこと、新築校舎の場所は中間中学校と中間東中学校を基本とし、今後協議していくこと、小学校の再編は２０年後に新築校舎の供用開始を目指すことが示されました。
事務局といたしましては、市長の説明を受けまして、教育委員の皆さまに改めて、新中学校の再編整備をどのようにしていくのかを協議していただき、教育委員会としての考え方を市長に回答してまいりたいと考えております。
本日は、資料として、「２．市長の考えを受けた中間市教育委員会の意見について」と、「３．市長の考えを受けた中間市教育委員会の考えについて」を事務局として整理しております。こちらにつきましては、総合教育会議での意見等を踏まえたものでございます。
委員の皆さまには、新中学校の再編・整備につきまして、ご協議をお願いい

たします。また、今後のスケジュールといたしましては、次回の8月定例教育委員会会議に、本日の協議を踏まえた市長への回答案をお示しすることができればと考えております。

太田教育長職務代理者 ありがとうございます。
只今の事務局からの説明に対しましてご意見、ご質問等はございますでしょうか。鶴田教育委員。

鶴田教育委員 まず、改めて確認をさせていただきます。
教育委員会が目指してきた学校再編というのは、施設設備と教育内容の両面において時代のニーズに合った学校づくりを行うことで、教育の質の向上を図るということを目的にしていると思っております。
改めてどのような学校再編を目指してきたのか伺いたいと思います。

山口教育総務課長 教育委員会といたしましては、全市的なまちづくりの見地から活用していくことが示された中間中学校と中間東中学校の敷地を最大限有効に活用できる整備手法を検討し、敷地内段差の解消、樹木が繁茂した法面の整備、アクセス道の整備を行うこと、そして、グループワークやタブレットを活用した学習等、主体的・対話的な深い学習が容易に行うことができる広々とした空間のある校舎の整備を目指してきたところでございます。また、同時に予測不可能な時代を生き抜く力や持続可能な社会の担い手となる子供たちの育成を目指し、学校教育重点目標を「未来を切り拓く力をもつ子供を育てる学校教育の実現」と設定いたしまして、確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成、特別支援教育の充実、信頼される学校づくりを5つの柱とした教育活動を推進しているところでございます。
例えば、豊かな心の育成として、北九州教育事務所から指導主事をお招きし、学校給食実地指導を開催する等、食に対する指導力の向上や学校給食を通じて望ましい食習慣を身に付けることを目指し、食育の推進に取り組んできたところでございます。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
八木教育委員。

八木教育委員 私からも少し確認をさせてください。総合教育会議の中で、市長から新中学校の整備が以前は1校あたり25億円だったのが、今は1校あたり100億円と4倍になっているという説明がありましたけれど、これは今まで私が見

てきた中の認識と大分違うのですが、まずこれが事実かどうか、どういう状況なのかということを教えていただければと思います。

山口教育総務課長 教育委員会が令和7年1月定例教育委員会会議で決定しました学校施設整備方針での学校建設費の試算は、校舎や体育館等の建物のみの試算であります。2校で約50億円、1校では約25億円という試算をしておりました。今回の新中学校施設整備実施計画では、2校で約190億円、1校では約96億円でございます。これにつきましては、校舎や体育館等の建設費に加えて、敷地内段差の解消費、法面や擁壁等の防災対策費、アクセス道の新設及び改善費、給食施設を新設するための費用等、校舎の建設費だけではなくて、グラウンドや法面、アクセス道、給食施設等さまざま学校施設全体の整備費用を含んだものでございます。このことから、事務局といたしましては比較することはできないと考えております。特に、中間東中学校の防災対策費につきましては、令和6年に開催しました総合教育会議におきまして、市長から「法面に関しては、令和10年4月を待たずして進めていかなければいけない問題」と言われたこと、また、副市長から、「法面整備の問題は学校再編と切り離してでも、しっかりやっていかなければならない問題である。法面については、教育予算にならないかもしれないが、子供たちと市民の方のために整備をしっかりと進めていきたい。」というお話がありましたので、法面の防災工事等に係る費用約30億円を含んで新中学校の整備費を試算したところです。

八木教育委員 よくわかりました。金額に関しては、私もいろいろなところから言われます。やっぱり事情を詳しく説明されないと、ただ単に高くなっているのではないかというだけの議論になってしまいますので、今後の説明会や保護者とのやりとりも含めて、十分に注意して説明をしていただく方がいいのかなと感じております。よろしくお願いします。

山口教育総務課長 今回の件に関しましては、八木教育委員がおっしゃるとおり、しっかりご説明しながら進めていきたいと考えております。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等はございますでしょうか。鶴田教育委員。

鶴田教育委員 市長が、既存の中間中学校と中間南中学校の校舎を活用して、できる限り早期の開校を目指すとおっしゃっていました。新築の校舎は10年後の供用開

始を目指すということと、新築校舎の場所は中間中学校と中間東中学校を基本として、今後協議していくということが示されたかと思います。

既存の校舎を活用して2校を先に再編した場合に、中間中学校と中間東中学校の敷地に新築校舎を建設する費用は、国の補助金を活用して建てることができるのかという確認をしたいのと、10年後の根拠というものが私には少しわからなかったなということが正直な意見でございます。

山口教育総務課長 私の方から補助金のことについてご説明させていただきたいと思います。
まず、中学校4校を2校に再編するときの国の補助金につきましては、学校統合による校舎屋内運動場等の新增築事業として補助金約2分の1が適用されることとなっております。
しかしながら、今回、市長がおっしゃられるように、既存の校舎を活用して2校に再編を先行して行い、10年後を目指して中間中学校と中間東中学校の敷地に新校舎を建設しようとした場合、すでに再編が中間中学校と中間南中学校の敷地で完了していること、そして中学校の学校数が、校舎を建設するときに2校と変わらないこと、また、中間東中学校はすでに廃校となっており、学校施設ではなくなっていること、そういう条件を見ますと、旧校舎を新築するための費用として、文部科学省の補助金ですが、特に解体費などは、新しく新築校舎を建てる時に対象とされない可能性があるのではないかと考えているところでございます。

鶴田教育委員 では、また先延ばししなければいけない可能性があるということですよ。

山口教育総務課長 一旦既存の校舎を活用した再編をしてしまいますと、そこで再編完了と捉えられてしまう可能性がありますので、補助金を有効活用することが難しくなるのではないかと現時点では考えております。

鶴田教育委員 その辺りも考えながら、ぜひ進めていただきたいと思います。

山口教育総務課長 校舎の建設等は、国の補助金を有効活用しなければできないと考えておりますので、国の補助金の仕組み等も研究しながら、進めていきたいと考えております。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
田中教育委員。

田中教育委員 繰り返しになりますが、学校再編については、現在市内4校の中学校を、既存の中間中学校と中間南中学校の校舎を活用した2校に再編することをまずは優先して進めていきたいという市長からの説明が先日あったのですが、そうなりますと、おそらくですが、中間北中学校の生徒が中間中学校に、中間東中学校の生徒が中間南中学校に通うことになり、中間中及び南中のそれぞれの生徒数は、ほぼ倍増することが想定されるのではないかと思います。そうなりますと、そのための校舎の改修等が見込まれると思います。既存の中学校を活用すると校舎が足りないので、改めて、既存の中学校を活用した整備計画が必要になってくるのかなと考えるのですが、その辺りについてはいかがでしょうか。

山口教育総務課長 既存の中学校の校舎を活用した場合は、やはり校舎の中の改修であったり、教室が不足する場合には、仮設校舎の建設等が必要になってくると考えております。その場合には、敷地内の環境改善を行うということで、改めて学校関係に経験がある設計会社等に業務委託する必要があると考えております。校舎の改修規模によっては、今回行ったような整備計画を策定して、もちろんその後に設計等の業務委託が必要になると考えているところでございます。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
八木教育委員。

八木教育委員 田中教育委員の話に関連しまして、これまでは前提として、学校再編は中間中学校の敷地と中間東中学校の敷地となっておりましたので、それをもとに通学区域審議会等が行われたと思います。先日言われたような中間中学校と中間南中学校になった場合に、以前行われた通学区域審議会の正式な答申は、どのような扱いになるのかを教えてください。

山口教育総務課長 八木教育委員のご指摘のとおり、通学区域審議会は、中間中学校と中間東中学校の敷地を活用した場合の通学区域についてご検討をいただき、今回答申をいただいているものでございます。中間南中学校についてこれまで検討したものとしたしましては、中間東中学校の敷地に新校舎を建設する工事期間中だけの、一時的な統合校として想定していたところでございます。今回の中間南中学校の敷地で既存校舎を活用して先行した再編を行うのであれば、前提が異なりますので、改めて通学区域審議会の中で、委員の皆様からご意見をいただく必要が出てくるのではないかと考えているところでござ

います。

八木教育委員 先日、私も PTA の中で保護者の方とこのお話になりました。私は今中間東中学校に息子が通っていて、その役員をやっておりますので、どうしても保護者から声を掛けられることが多くなります。特に、市役所近くの土手ノ内から新手方面の保護者にも役員がいらっしゃるのですけれど、もうそれだったらそのままでいい、もう再編なんてしなくていいというような声が出てきています。とは言いつつも、再編は必要なことだと私個人的には思いますけれど、そういう機運になるといいですか、もうやらなくていいという話になるのが一番良くないことだと思います。

この通学区域審議会も、夜遅い時間に集まったり、昼間の仕事を休んだりして、保護者からそういった協力をいただいてる中で出した答申に対して、全く意味がないとは言いませんけれど、考慮されないということは、保護者の諦め感に繋がってしてしまうのではないかと思います。

そういった機運にならないためにも、保護者とのコミュニケーションであったり、時には市長部局との意見交換会であったり、そういったところを今後はさらに深めていっていただきたいなと思っております。

山口教育総務課長 これまでも保護者の方には、通学区域審議会に限らず、様々な場面で夜遅くに集まっていただきまして、いろいろなご意見を伺ってきたところでございます。今後も引き続きコミュニケーションを取りながら、子供たちにとって、教職員の方にとって、保護者の方にとって、充実した学校施設となるように事務局としては努めていきたいと考えております。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見、ご質問はございますでしょうか。
田中教育委員。

田中教育委員 市長が言われている 10 年後の新築校舎開校を目指した場合、今から 1、2 年をかけて中間中と南中の改修費に予算をつぎ込んだ数年後には、改修した校舎をすぐに取り壊し、新築校舎の設計・施工に取りかかることになるのではないかと思います。

財政上の理由から新築開校を見送ろうとする経緯を考えると、矛盾した点が出てきて、生徒や保護者の理解を得にくいのではないかと、或いは筋が通らないのではないかと、思うところもあります。

さらに、先ほど八木教育委員が言われた通学区域の変更に伴う学習生活環境の変化が、生徒や保護者の負担に輪をかけることが想像されます。生徒や保

護者の負担を最小限にとどめることを第一に考えた場合、新中学校の施設整備についてどのような方策が考えられるのか、もしありましたら教えていただければと思います。

山口教育総務課長 事務局といたしましては、実施計画どおり、新中学校2校の新築校舎等の整備を行うことが、一番良いと考えます。しかしながら、経済政策を最優先として計画を見直すのであれば、今、教育委員の皆様がおっしゃっていただいたことを踏まえ、今の既存の校舎を活用した再編をそのまま実施するのではなくて、市長がおっしゃられる10年後の新築校舎供用開始する時まで中学校4校を維持した中で、4校の維持補修を進めていくことの方が、生徒や保護者の通学負担であったり、学習生活の変化の負担を軽減できる最善の方策ではないかと考えているところでございます。また、先ほど補助金のこともありましたが、新築校舎を建てるときに、国の補助金を有効活用するという点からも、今すぐ既存の校舎で再編するのではなくて、4校を維持しておくということが望ましいのではないかと考えているところでございます。

そのためにも、本年度実施している体育館の空調設備の整備であったり、校舎の屋上防水や外壁改修等の施設整備に努めていながら、現在の教室空間を最大限活用した学びということを継続して行っていきたいと考えているところでございます。

太田教育長職務代理者 その他、ご意見、ご質問はございますでしょうか。
田中教育委員。

田中教育委員 今山口課長の方からお話があって、私もそれを聞いて、新築校舎開校までは現在の中学校4校を残し、維持補修し続けることが、生徒や保護者の負担及び財政面から適しているのではないかと考えます。

その一方、忘れてはならないのが、生徒、保護者、教職員、また地域の方々の安全安心の確保です。校舎の老築化は紛れもない事実でありますので、外壁の落下や空調設備の整備、様々な犯罪に対するセキュリティの強化等、多様な課題への対策については細心の注意を払い、万全を期して欲しいと思います。

今回この4校を残して、もしそのようなことが起こったら、本末転倒なことになりますので、十分な配慮をしていただければと思います。よろしく願いいたします。

- 山口教育総務課長 今回の大雨でも、かなり雨漏り等が発生しております。しっかりと学校施設の維持管理を進めながら、子供たちが学び、生活する環境、そして教職員の方が働く環境、そして地域の方々が社会体育等で使っていただく環境を、施設整備の面からもきちんと対応してまいりたいと考えております。
- 太田教育長職務代理者 その他、ご意見ご質問等ございますでしょうか。
ないようですので、新中学校の再編・整備につきましては、本日ご意見をいただきました内容で事務局の方で取りまとめ、市長への回答案の作成をよろしく願いいたします。
それでは、令和８年８月定例教育委員会の日程について、説明をお願いいたします。
- 山口教育総務課長 ８月の定例教育委員会の日程につきましては、８月４日火曜日午前１０時から、本館４階第一委員会室にて開催したいと考えております。ご協議をよろしく願いいたします。
- 太田教育長職務代理者 ８月定例教育委員会の日程等、皆様いかがでしょうか。
- 教育委員 ≪了承≫
- 太田教育長職務代理者 ありがとうございます。
それでは、そのように決定いたします。
それでは、議決事項第２４号議案中間市教育委員会点検評価委員会委員の委嘱について、ご説明をお願いいたします。
- 山口教育総務課長 第２４号議案中間市教育委員会点検評価委員会委員の委嘱について、提案理由を申し上げます。
点検評価委員会とは、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条の規定により、毎年、教育行政事務の管理及び執行状況について、点検と評価を行う委員会で、報告書は、議会に提出することとされております。
今回、２名の委員のうち、下田様が５月２９日付けで宮若市の教育長にご就任されましたことから、同日付けで辞退届が提出されましたので、後任の委員をご提案するものでございます。後任の委員につきましては、現在、九州女子短期大学子ども健康学科の教授であります、吉田浩一様をご提案いたします。吉田様は、小学校の教諭として長年市内外で勤務されております。

現在は、九州女子短期大学の教授としてご活躍されておりますことから、教育に関し、幅広い視点でのご意見をいただくことができていると考えているところでございます。任期につきましては、本日、令和８年７月７日から令和１０年３月３１日まででございます。このことにつきまして、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第２６条第２項及び中間市教育委員会事務委任規則第２条第６号の規定により、委員会の議決を求めるものであります。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

太田教育長職務代理者 ありがとうございました。
点検評価委員会委員といたしまして、吉田浩一様を委員として委嘱するという
ことで、皆様よろしいでしょうか。

教育委員 ≪承認≫

太田教育長職務代理者 ありがとうございます。それでは、そのように決定いたします。
第２４号議案は承認されました。
本日予定されております議事等は全て終了いたしましたので、令和８年７月
定例教育委員会を閉会いたします。ありがとうございました。

[閉会時刻：１１時０２分]

令和 8 年 8 月 4 日

教育委員 八木 秀和

教育委員 鶴田 弥生